

本仁田山手前 瘤高山 (こぶたかやま 1116m)



今回は電車を乗り継ぎ、青梅線の鳩ノ巣駅から本仁田山を目指す。どんよりした厚雲に覆われ、いまにも降り出しそうな中、参加者13名で笠石さんをリーダーに鳩ノ巣駅前を出発。踏切を渡って登山口へ向かうと、急こう配の坂が続く。先には民家や車がある。この急坂を車で上下するのははかかなり勇気がいることだろう◆登山道に入ると谷側が開けてやや明るい道が続いた。この季節らしく道端にはススキ、ミズヒキ、ユウガギクやキバナアキギリが花をつけている。やがて杉林に入ると、あたりははかかなり暗くなり、しかも登るにつれて霧が立ち込めてきた。そんな中を1時間ほど登っていると林道が現れ、近くには「大根山神」(おおねやまのかみ)と記された小さな祠があった。ここで休憩◆休憩後の道はなおも単調な登りが続き、霧はいよいよ深くなり、濃い霧の中で杉の木立が幽玄な雰囲気漂わせていた。とはいえ、汗をかきながら登る身にとって単調な道は体にこたえる。そうした中、特にアクシデントが起きたわけではないが、メンバー4名が途中で引き返すことになった◆下山4人組と別れた後、なおも農霧の中を登っているとようやく杉林をぬけ、やや明るい尾根道に出た。ミヤママコナがたくさん花をつけていたが、しばらくして瘤立山(こぶたてやま)に到着。ここで相談の上、天気的好転は望めず展望も全くないことから、あと30分ほどかかる本仁田山への登頂はやめ、ここで昼食とし鳩ノ巣駅に引き返すこととした◆霧雨の中で昼食を摂り、集合写真を撮ったあと登ってきた道を引き返す。下りとはいえ展望もなく歩きにくい単調な道は長いものだった。鳩ノ巣駅に到着し、先に下山した4名のメンバーと再会◆今回は霧に覆われ、霧と汗で着衣も濡れはしたが、雨具を出すほどでもなかったのは幸いだった。この季節、日が暮れるのも早まっているので、途中で引き返したのは正解だったかもしれない。昨今はコロナ禍で遠出もままならなかったが、少し緩和されてきたようだ。これから秋が深まるにつれ、鳩ノ巣では深谷美と紅葉を求めて人出が多くなることだろう。



〔電車:若葉駅 6:15 発→ 拝島駅 7:36→ 青梅駅 8:10→ 鳩ノ巣駅着 8:42〕 鳩ノ巣駅 8:55 発→ 大根山神 (おおねやまのかみ) 9:55
 → 休憩 10:45→ 4名引き返す 11:05→ 瘤高山 (1116m) 11:20 着 (昼食) 12:00 発→ 大根山神 13:10→ 鳩ノ巣駅 14:10 着
 〔帰路電車:鳩ノ巣駅 14:35 発〕 (南雲記)